

軽量ラック 取扱説明書

保存用

このたびは軽量ラックをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
製品のお取扱いに際しましては、下記の注意事項をお守りいただき、正しい方法にて組立て、ご使用下さいますようお願い申し上げます。

耐荷重は段当り最大120kg(等分布平均荷重)です。

警告

- 安全保安部品(コーナープレート・ボルトナット等)をはずして使用しないで下さい。
事故によってけがをすることがあります。
- 廃棄をするときは、専門業者におまかせ下さい。

棚サイズ別耐荷重表(kg)

間口(W) \ 奥行(D)	300	450	600
900	120kg		
122			
1500			
1800			

製品の材質

- | | |
|----------------|-------------------|
| ○ 支柱・棚板 | スチール製(メラミン樹脂焼付塗装) |
| ○ ダブル型コーナープレート | スチール製(メッキ鋼板) |
| ○ ボルトナット・ドライバー | スチール製(ユニクロメッキ) |
| ○ ベースプレート | スチール製(ユニクロメッキ) |

注意

- 集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せないで下さい。
棚1段当りの耐荷重は等分布荷重です。集中荷重をかけたり、耐荷重より重いものを載せると棚板がたわみ荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 足を掛けたりよじ登ったりしないで下さい。
転倒してけがをしたり棚が変形する恐れがあります。
- 荷物を放り投げて載せないで下さい。
棚板がたわみ、荷物が落下し、けがをすることがあります。
- 最上段の棚板に荷物を載せないで下さい。
棚本体が倒れ、荷物が破損したり、けがをすることがあります。
- 棚本体に寄りかからないで下さい。
棚の積載物・積載量によって、棚が倒れけがをすることがあります。
- 製品の孔に指を入れないで下さい。
孔に指を入れると、けがをすることがあります。
特に小さなお子様には気を付けて下さい。
- 危険物(薬品・壊れ物等)を収納しないで下さい。
人体や衣服等に傷をつけることがあります。
- ボルトやナットがゆるんだまま、使用しないで下さい。(定期的に点検して下さい)
本体が壊れてけがをすることがあります。
- 上下を確認の上、正しく使用して下さい。
不用意に棚板を逆向きに使用すると、けがをすることがあります。
- 最上段の棚板は支柱の上端に必ず取付けて下さい。
支柱の角でけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないで下さい。
本体が壊れてけがをすることがあります。
- 分解禁止。分解組立は専門業者にお任せ下さい。
転倒などの事故になることがあります。
- 用途以外で使用しないで下さい。
転倒してけがをすることがあります。

*この製品を第三者に譲渡、貸し出しを行う際は、本取扱説明書を添えてお渡し下さい。

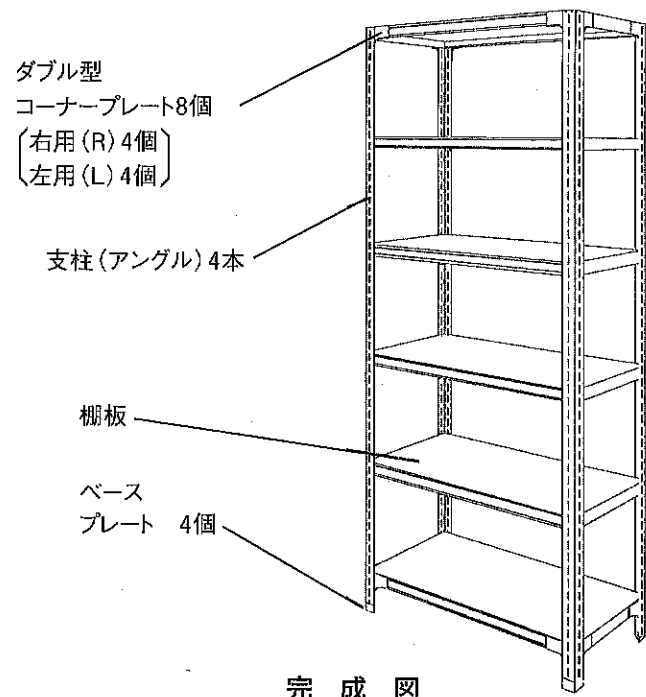
警告 この表示を無視して誤った取扱いをしますと、死亡または重傷を負う可能性があります。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをしますと、傷害又は物的損害が発生する可能性があります。

本取扱説明書は、大切に保存して下さい

軽量ラック組立説明書(オープン型)

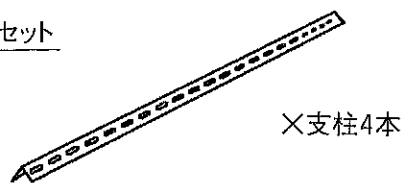
右記の順に従って正しく組立を行ってください。金属製品なので取扱いは十分注意し、手袋などの保護具を利用して行ってください。
また、完成後は注意事項を遵守し正しくお使いください



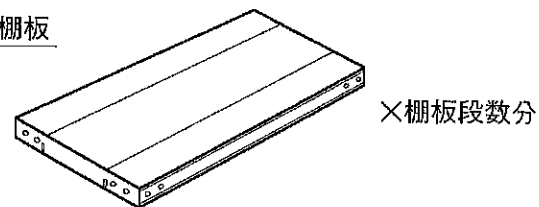
完成図

1台セット内容

支柱セット

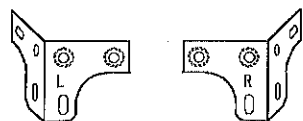


棚板



部品類

ダブル型コーナプレート



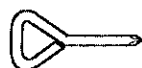
×左用(L)4個 ×右用(R)4個



×ベースプレート4個



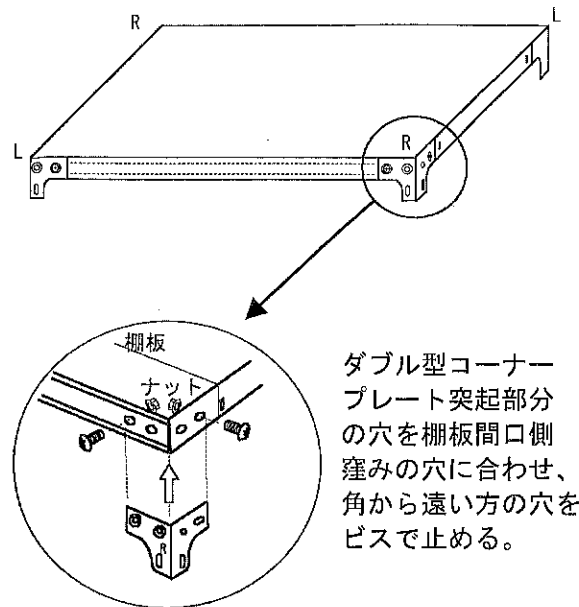
×M6ボルトナット100組



×ドライバー1本

1

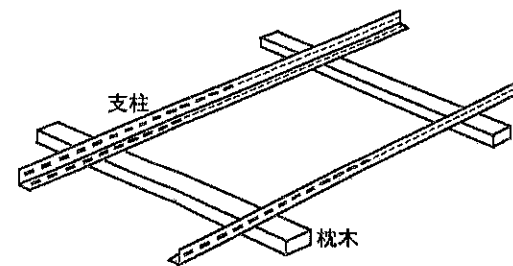
①棚板コーナー部にダブル型コーナプレートを取付、(刻印R、Lが間口側)ビスで固定。それぞれ四角に取付け、この棚板を2枚分(最上段・下段)組み立てる。



《Point》
組立は必ず広い場所で行って下さい。

2

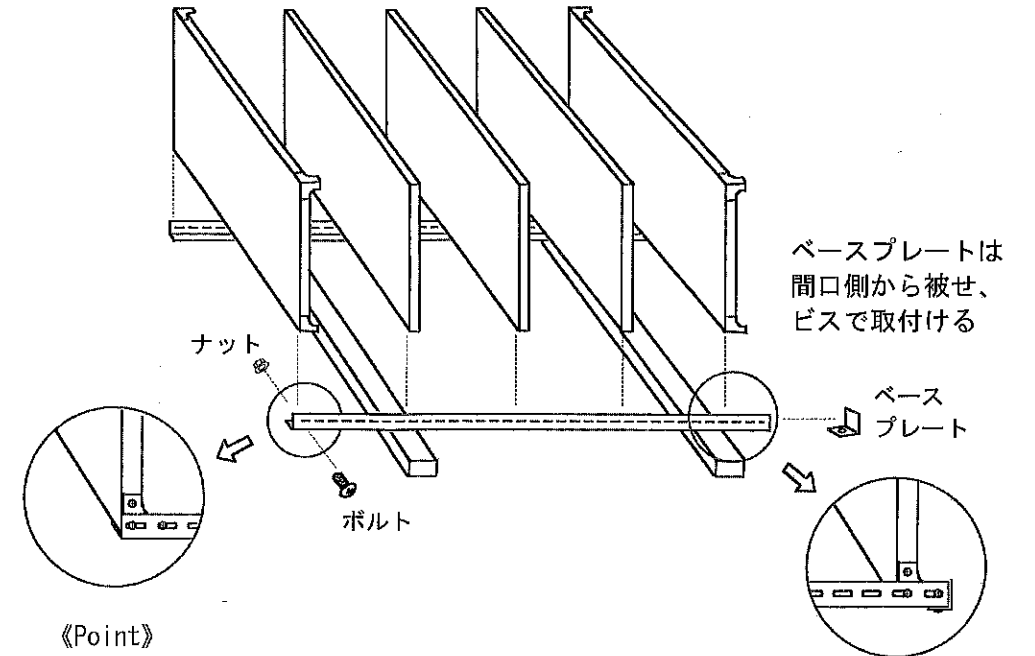
②支柱を向い合せに床に並べ、ビスが止め易いように枕木などを敷いてください。



《Point》
床や製品の傷防止に梱包ダンボールを床に広げてお使いください。

3

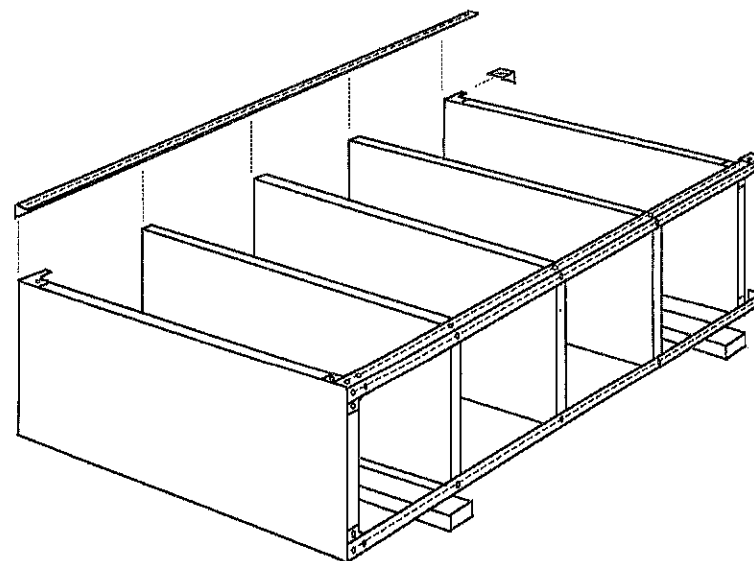
③支柱に棚板を仮止めします。
最上段及び最下段は①で組立てた棚板を使い、最上段は支柱端と同一面に、最下段は下から2つの孔にセットしてください。
また、最下段はベースを支柱外側から共締めにてセットしてください。
その後、中段棚板をビスで仮止めしてください。(中段フック使用時は⑥にて)



《Point》
オプションの中段フック使用時は上下段棚板のみを取付け次へお進みください。

4

④残りの支柱2本も組み立てる。

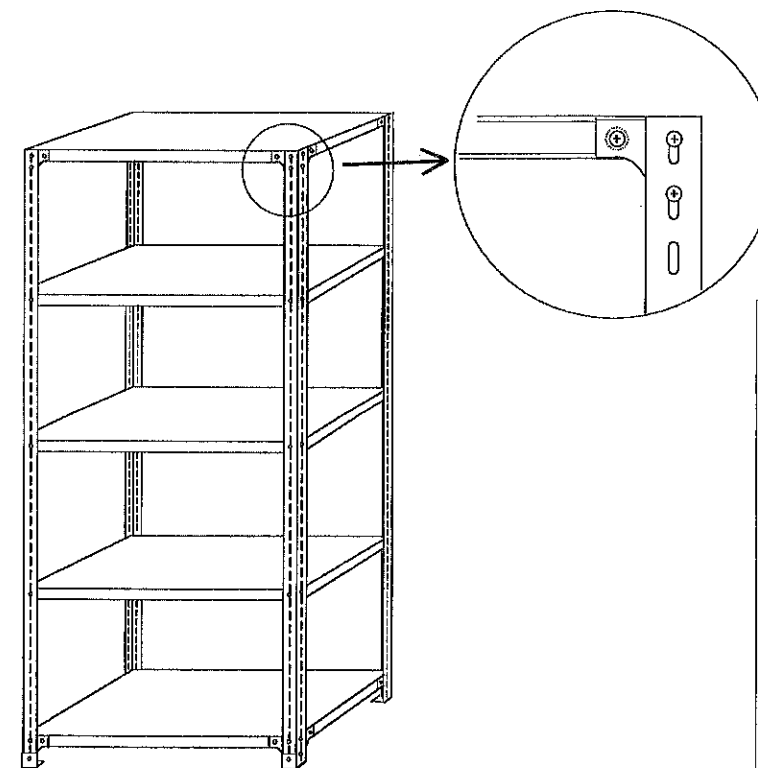


⑤その後、棚の歪みを注意しながら立て起こす。

《Point》
立て起こしの際は複数の方での作業を推奨します。
棚の歪みや転倒の危険などが少なくなります。

5

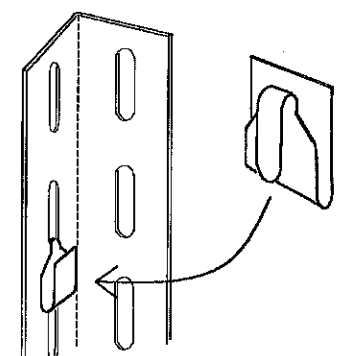
⑥全体のバランスを取りながら、各々ビスを増し締めしてください。
尚、ビスの締めりが緩い状態で使用すると歪みや転倒の原因になります。
※最後に必ずビスの締め忘れが無いか確認してください。



《Point》
床面が不安定な場所に設置しないで下さい。
歪みや転倒の原因になります。

■中段フック(オプション)

中段の棚板をビス止めせず、簡単に棚板が取付可能なフックです。棚板段ピッチの変更が容易に行えます。(4個/段)



支柱内側